

# BIG BEN

- p1 会員が参加できる今年のイベント紹介
- p2 写真探訪：ノレッジ・クォーター
- p3 領事便り：クレジットカードの不正使用に要注意
- p4-5 短信：日本人社会の動き
- p6 キューガーデンに石燈籠寄贈
- p6 新任医師（本木隆規先生）紹介
- p7 エッセー：成績表の理解と生かし方
- p8 理事の交代、お知らせ

メール登録が必須

## 今年の会員参加型イベント

今年も会員が参加できる日本クラブ主催のイベントが盛んだ。これらの催し物は会員であれば誰でも参加できます。詳しい内容や日程は日本クラブからの「お知らせメール」で配信されますので、メール登録が必須です。メール未登録の会員はこの際にメール登録をされることをお勧めします。登録は [oshirase@nipponclub.co.uk](mailto:oshirase@nipponclub.co.uk) に名前と会員番号をメールするだけで出来ます。また、会員及びその家族であれば誰でも可能です。家族各人がそれぞれに登録することも可能です。



シティ散策ツアー

### <アウトティング>

日英交流促進委員会が主催する会員参加型の日英交流活動やイベントで、今年も次のような催し物が企画されている。

◆**年次ゴルフ大会（6月2日）** 会員の友好と親睦を深める目的でメイドンヘッド・ゴルフクラブで毎年1回行われているゴルフ大会で、今年第57回目を迎える。会員であれば誰でも参加できる。賞品が豪華なことで好評だ。

◆**シティ散策ツアー（7・9月）** シティ公認ガイド、坂次健司さんによるシティの歴史を探る散策ツアーで、今年も中央コース2回、シティ東西南北コース各1回の合計6回の散策ツアーが企画されている。坂次さんの蘊蓄とユーモアたっぷりの説明が人気を集めている。

◆**ワイナリー見学バスツアー（9月1日）** 今年5年目になる定番のワイナリー見学のバスツアーで、サリーのドー

キングにあるデンビーズ・ワイン・エステートを訪ねる。気候温暖化もあって英国製ワインの質が向上しているが、このワイナリーのスパークリング・ワインはコンテストで金賞を獲得している。

◆**ジャパン祭り（9月29日）** 恒例のトラファルガー広場で開催されるジャパン祭りで、今年は11回目を迎える。日本クラブは実行委員会の要請に応じてボランティアを供出している。

◆**ハマースミス公園「日本庭園」清掃作業（10月13日）** ハマースミス公園の中にある「平和園」という名の日本庭園は、1910年の日英博覧会の際に造園された歴史的な日本庭園である。昨年には日本企業等からの資金提供で日本式の正門を建設、石灯籠を20基設置して、より日本庭園らしくなった。日本クラブでは毎年、ボランティアによるこの庭園の清掃作業を行っている。

(2面へ続く)

◆**大英博物館見学ツアー（11月）** シティ散策ツアーでお馴染みの坂次健司さんによる大英博物館の見学ツアーで、昨年からはじまった。今年も3回開催の予定。

※このほかにもいろいろな企画が検討されています。

＜会議室を使ったセミナー＞

会員サービス委員会が主催するセミナーで日本クラブの会議室を利用したセミナーを企画している。ロンドンの知識を増やす講座や、ロンドン生活を楽しくする役に立つセミナーを行っている。すでに昨年に引き続き坂次健司さんによるロンドンを知るためのセミナーが3回行われた（以下参照）。

◆**「江戸とシティの比較論」（1月18日）** 広重の「江戸名所百景」を引用した両都市の比較論

◆**「ロンドンと技術革新の歴史」（2月15日）** ロンドン発のテクノロジーで社会を読み解く

◆**「暗号や図象を紐解く身近なロンドン探訪」（3月15日）** ロンドンのあちこちに隠された暗号を読み解く

これから予定されているセミナー

◆**インテリアでロンドンを10倍楽しむ（6月5日）**

昨年好評だったインテリア専門家によるセミナー

◆**ガーデニング（6月か7月）** イギリス人の大好きなガーデニングの話を実験家から聞く。

◆**世界に羽ばたく日本酒（10月か11月）** 日本人なら知っておきたい日本酒の基礎知識、試飲付き

◆**インテリアでロンドンを10倍楽しむ（11月か12月）**

※会員サービス委員会では会員の方々からのご要望や講師の推薦を承っております。



日本酒セミナー

写真探訪 Around London

ロンドンではいつもどこかで再開発が繰り広げられているが、現在最も注目されているのがキングス・クロス駅周辺の再開発だ。駅の北側には新しいガラ



【Knowledge Quarter】

ス張りの高層ビルがどんどん建てられ、古い倉庫や操車場はアートスクールに改造されたり、博物館やギャラリーに生まれ変わったりしている。ここから大英博物館のあるブルームズベリー地区を含めて、ロンドンのノレッジ・クォーター（知識地区）と呼ばれている。ロンドン大学をはじめとする高等教育施設が7校、大英図書館等の文化施設が13軒、博物館・ギャラリーが21軒ひしめき、科学者が3,000人働き、アカデミー関係者は12,000人、学生数は77,000人に上っている。おしゃれなレストランやバー、ショップも登場し、ここを訪れる人は毎年1,000万人を越すそうである。

（King's Crossで 文・写真：加藤節雄）



## クレジットカードの不正使用に 注意しましょう！

今月号より、前任の竹内領事に代わり、領事だよりを担当させていただきます津田 進と申します。どうぞ、宜しくお願いします。

皆様、海外旅行に出かける機会が多いと思います。その際に、多額の現金を持って行くのはとても危険です。万が一、盗難にあった場合にも、海外旅行保険をかけていても、現金は保証の対象外です。また、多くの国では多額の現金の持ち込みを規制していて、一定額以上の金額を超える場合には申告を義務づけています。もし申告しなかった場合、現金は没収されてしまうこともあります。

でも、せっかくの海外旅行なのだから、お土産を沢山買いたい！という人は、クレジットカードを持って行くのが身軽で便利です。ただし、そんなクレジットカードが海外で悪人に狙われているのをご存じですか？

### < Aさんの場合 >

海外のリゾート地に、ゴルフ旅行に来たAさんは、財布をゴルフ場のロッカーに預けました。上々のスコアでプレーを終えて、機嫌よくレストランへ行き食事を取りました。しかし、その後、クレジットカードで食事代の支払いをしようとしたところ、なぜかカードが使えないと店員に言われます。よく見ると、財布の中に入っていたのは、なんと他人のクレジットカードでした。ゴルフ場のロッカーに財布を預けていたときに、誰かにすり替えられていたのです。後日確認したところ、Aさんの盗まれたカードは何者に悪用されており、高額な買い物をしていました。

### < Bさんの場合 >

ヨーロッパ観光に来たBさんは、屋台のみやげ物屋で買い物をするとき、店主から、「おつりが払えないのでクレジットカードで払って欲しい」と頼まれました。言われたとおり、クレジットカードを店主に渡し、端末に暗証番号を入力しましたが、正常に受け付けられません。すると店主は、「カードに問題がないか確認してくる」と言い残し、どこかへ行ってしまいました。数分後、帰ってきた店主に、「このクレジットカードは

この店では使えない」と言われ、結局Bさんは欲しかったお土産を買うことができませんでした。がっかりして帰国したBさんですが、クレジットカードの請求書を見て仰天しました。多額の現金が、クレジットカードから引き落とされていたのです。屋台の店主が、暗証番号を盗み見し、クレジットカードを持って店を離れた時にATMから現金を引き出ししていたのです。

\* \* \* \* \*

Aさん、Bさんに共通していることは、旅行中にクレジットカードから目を離してしまったことです。海外旅行で頼れる味方のクレジットカードですが、悪人には常に狙われているのです。クレジットカードはいつでも肌身離さず持ち歩くようにしましょう。また、万が一、カードが盗難にあった場合には、直ぐにクレジットカードを停止できるよう、カード会社の電話番号を控えておきましょう。

### 日本クレジットカード協会トップページ

[www.jcca-office.gr.jp](http://www.jcca-office.gr.jp)

### 日本クレジットカード協会 海外渡航時のご注意事項

[www.jcca-office.gr.jp/consumer/overseas.html](http://www.jcca-office.gr.jp/consumer/overseas.html)



# 短 信

COMMUNITY PLAZA



## ウォーレン元駐日大使が叙勲

2008年から4年間駐日英国大使を務めたデイヴィッド・ウォーレン氏 (Sir David Warren) が旭日大綬章を受章した。ウォーレン氏は駐日大使時代も含めて13年間日本に滞在、2011年の東日本大震災の際には2日後に現地を訪れ援助の手を差し伸べた。退職後は2012年より昨年までロンドンのジャパン・ソサエティーの会長を務め、その他ジャパン・ハウス・ロンドンの運営委員、シェフィールド大学の客員教授、セインズベリー日本藝術研究所顧問、チャタム・ハウスの准フェロー等を務めている。叙勲伝達式は3月21日(木)ロンドンの日本大使館で行われた。(写真①日本大使館提供)



## ロジャー・パルバース氏叙勲

日本における外国語教育の発展及び科学技術理解に寄与したとして、語学教師、作家、翻訳家、舞台・映画監督

といった多くの顔を持つロジャー・パルバース (Roger Pulvers) 氏が旭日中綬章を受章した。オーストラリア国籍で現英国在住のパルバース氏は長い間日本に住み、作家として自伝から小説まで50冊以上の日本関連の本を出版、最近では日豪合作映画「星砂物語」の原作、脚本、監督を務めた。また、50年以上に亘り東京工業大学名誉教授をはじめ、他の大学でも語学教育やリベラルアート教育に従事した。叙勲伝達式は1月23日(水)日本大使公邸で行われ、パルバース氏は「感無量」と感想を述べた。(写真②日本大使館提供)



## かさねの森 染司よしおか展

ケンジントンのジャパン・ハウス・ロンドンで日本の美しい伝統の色と季節の移り変わりの繊細さを表現した染色作品の展覧会が開催されている。京都で200年以上続く染屋「染司よしおか」の5代目の当主吉岡幸雄氏と娘

さんで6代目になる吉岡更紗氏の染色作品が天井から幾重にも吊り下げられ、展示会場に一步入るとまるで「かさねの森」へ迷い込んだような感覚を味わうことができる(写真③)

● Living Colours: Kasane – The Language of Japanese Colour Combinations  
かさねの森 染司よしおか  
Japan House London  
101-110 Kensington High Street,  
London W8 5SA  
[www.japanhouselondon.uk](http://www.japanhouselondon.uk)  
5月19日(日)まで 入場無料



## 「日本の美人」版画展

古書、珍本、浮世絵をはじめ日本の版画、古画、骨董等を扱うロンドンのギャラリーで「日本の美人」と題した版画の展覧会が開催される。主に美人画の版画で展示即売をする。(写真④)  
● Japanese Beauties – Print Exhibition  
Henry Sotheran's Print Department

## 年次ゴルフ大会 6月2日(日)

第57回日本クラブ年次ゴルフ大会が6月2日(日)メイドンヘッド・ゴルフクラブで開催されます。順位はダブルペリエ方式(隠しホールによるハンディキャップで算出)で計算の上決定されますので、誰でも優勝のチャンスがあります。そのうえ、豪華賞品も用意さ

れていますので、奮ってご参加ください。日本クラブ会員であればどなたでも参加できます。

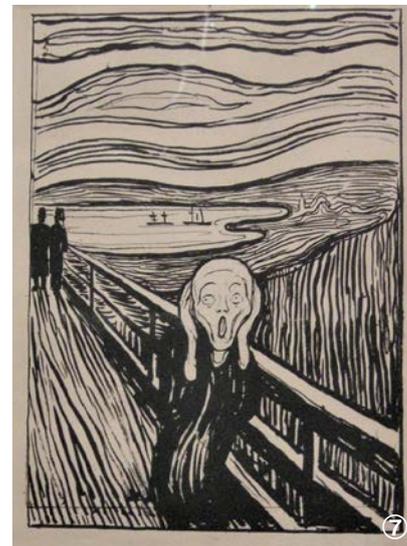
詳細・申し込みは以下から：  
[www.nipponclub.co.uk/pdf/golf\\_competition\\_57\\_2019.pdf](http://www.nipponclub.co.uk/pdf/golf_competition_57_2019.pdf)



昨年の年次大会優勝の外山健二さん(左)

# 短 信

COMMUNITY PLAZA



2 Sackville Street, London W1S 3DP  
 ☞ Piccadilly  
 5月2日(木)～5月23日(木)  
 TEL: 020-7439-6151 入場無料

## 在英日本人陶芸家 作品展

日本の陶芸は世界的に高く評価されており、よく日本人の大物作家が英国でも展覧会を開催している。日本人の間ではあまり知られていないが、日本で陶芸の修行をした人に限らず、こちらの芸術大学でセラミックスを学んだ日本人の若い作家が増えている。中には大きな博物館やギャラリーが競って買い求める作家も出現している。英国在住の若い作家は日本の伝統にこだわらず、日本人の感性によって自由に作陶をしているので、かなりユニークな作品を作る人が多い。そんな日本人の英国在住の作家の作品を集めた展覧会が開催される。(写真⑤は岩本郁子作品)

● Connections – A Group of Japanese Makers at work in the UK: Ikuko Iwamoto, Hiro Takahashi,

Kaori Tatebayashi, Yo Thom and Motoko Wakana  
 6月27日(木)～7月20日(土)  
 月～土: 10:30～18:00  
 Contemporary Ceramics Centre  
 63 Great Russell Street, London WC1B 3BF (大英博物館正門前)  
 入場無料

## MANGA マンガ展

日本国外で最大規模となる漫画展が大英博物館で開催される。今や日本の漫画は世界中の読者に楽しまれている。漫画は19世紀に北斎が気の向くまま、自由に描いた絵を集めた「北斎漫画」に由来していると言われていたが、今や日本の漫画はアニメ、ゲーム、コスプレへと展開し、日本を代表する一大産業となっている。この展覧会では漫画の芸術性を体験し、漫画が日本でどのようにして生まれ、世界に広がる文化現象となっていくかを検証している。(写真⑥)

● The Citi exhibition Manga マンガ

Sainsbury Exhibitions Gallery  
 The British Museum, Great Russell St., London WC1B 3DG  
 5月23日(木)～8月26日(月)  
 入場料: £19.50 (16歳未満無料)  
[www.britishmuseum.org](http://www.britishmuseum.org)

## エドヴァルド・ムンク展

大英博物館でノルウェーの代表的作家エドヴァルド・ムンクの作品展が開かれている。出展されているのは主にムンクのプリント作品で、有名な「叫び」(Scream)も展示されている。この展覧会ではムンクの生い立ちから、若い時に妹と母を亡くし、生命ということに常に対峙してきたムンクの生涯の作品を紹介している。「叫び」が描かれた背景も分かる。(写真⑦)

● Edvard Munch: love and angst  
 The Great Court Gallery  
 The British Museum, Great Russell St., London WC1B 3DG  
 7月21日(日)まで  
 入場料: £17.00 (16歳未満無料)

## グリーンコーラス定期演奏会

今年第31回目を迎える日本クラブ女性合唱団グリーンコーラスの定期演奏会が6月29日開催される。今年は第1部で女声合唱組曲「今日もひとつ」、第2部ではヨハン・シュトラウス2世のオペレッタ「こうもり」をはじめ、日本の唱歌も歌う。

日時: 6月29日(土) 午後3時より  
 会場: Hinde Street Methodist Church  
 19 Thayer St., London W1U 2QJ ☞ Bond Street  
 入場無料 (ドネーション歓迎)

問い合わせは:

[londongreenchorus@gmail.com](mailto:londongreenchorus@gmail.com)



グリーンコーラスのメンバー

## 由緒ある石燈籠をキューガーデンに寄贈

「びっぐべん」編集委員の森嶋瑤子さんが、この度エセックスの自宅の庭にあった由緒ある石燈籠をロンドンの王立キューガーデンに寄贈、キューではこの石燈籠を園内の奥まったところにある「民家」の前の植え込みの中に設置した。民家の周辺は各種の竹藪や笹藪があり、日本的な雰囲気のある強い場所で、ここでは毎年7月に七夕祭りが開催されている。

江戸時代の制作と思われるこの石燈籠は高さ約180センチメートルのかなり大きいものであり、キューガーデンの担当者のレイ・タウンゼンド氏によると3つの部分に分けて運んだが、それぞれがかなり重く3人がかりでバンに厚板を斜めにかけてやっと乗せたという。

森嶋さんによると、彼女は1960年代の初めに神戸にあったご主人（経済学者の故森嶋通夫氏）のご両親の家に住んでいたが、家の改造・建て増しをした際に、庭の様式替えもした。その時にご主人のお父様の近所の知人が「家の庭にある石燈籠が不要になった」ということで譲り受け、森嶋家の庭に置いたそうだ。

その近所の知人というのは数年前のNHKの朝の連続テレビドラマ「あさが来た」のヒロイン広岡浅子さんで、この石燈籠は広岡家の本宅の庭に置いてあったものだった。広岡家は昭和の初めの経済大恐慌までは、広岡財閥

として加島信託等を運営し、森嶋通夫氏の父親も加島信託の社員だった。

その後森嶋通夫氏が英国の大学で教鞭をとることになり、英国に住みだしたが、1975年には森嶋氏の父親が逝去、85年に日本の家を手放した際に他の家具とともに石燈籠も引っ越しの荷物として英国へ持ってきたという。



森嶋さんはこの石燈籠がいつ頃どこで作られたかは分からないが、出来たら広岡家の子孫を探し当て、その由来を聞き、そしてその石燈籠が現在世界中の人が見学に来るロンドンの王立植物園に永久に設置・保存されていることを伝えたいと話している。（取材・写真 加藤節雄）

## 日本クラブ診療所 高木先生の後任は本木隆規先生



小児科、特に内分泌が専門だが、それに留まりたくはないという。祖父は開業医で、叔父の小林尚明医師も日本クラブ診療所に勤務したことがあるお医者さんの家系である。

昔から「家庭医」になりたかった。家庭医になるためには専門医であるとともに一般的な医学経験が必要ということで、慈恵医大病院に務めるかたわら週1回外部の内科クリニックに非常勤で勤務、心療内科やパーキンソン病の患者も診てきた。

現在の日本の医療は診察時間がなく検査データ中心で、薬を処方する方法が主流となっている。それが悪いということはないのだが、もう少し患者との会話を通してブラ

スアルファの診療が出来ないものかといつも思っている。

特に現代の環境は子供たちにとっても余裕がなく良いとは言えない。外で友達と遊ぶより独りでテレビを見たりゲームをして過ごす。情緒的に問題が起こりやすい。そんな子供とは時間をかけて話をするのが大切だと思っている。今は総合診療医を目指している。

イギリスへ来てまだ間もないが、パブでクラフトビールを飲みながら、人の観察するのが好きだという。家から診療所まで30分弱歩いて通勤している。休日は3万歩ぐらいは歩きたいと思っている。歩きながら建物や庭を見たりしてイギリスの歴史の深さに感心している。幼少期から得意だった水泳（競泳）は今も休んでいるが、これもいつか再開したいと思っている。ロンドンへは天文学の造詣が深い奥様と2人で赴任。

（取材・写真 加藤節雄）



## 成績表の理解と生かし方

イギリスの5月は、月初めと月末に祝日があり、いよいよレジャーの季節到来とワクワクします。しかし学生にとっては、試験シーズンなので浮かれてもいられません。イギリスでも国家試験は試験の成績で判断されますが、こと学校の成績評価については試験結果ばかりが重視されているわけではありません。イギリスの学校の成績表を読み解くカギと対処法を考えてみましょう。

イギリスの学校の成績表を見てみると、最初に、それぞれの生徒のターゲットが決められ、それをどのくらい達成しているかが見られていることがわかります。そして、各教科ごとに先生のコメントが書かれていて、最終的に絶対的評価も付け加えられています。

各教科の評価項目で、宿題の期限内提出や授業態度も評価対象となっている点は日本と同様ですが、授業態度については少し比較考察が必要です。たとえどんなに集中して授業に臨んでいて、試験の成績が良かったとしても、「クラスへの貢献度」という観点から、日本人生徒は評価を落とすことが多いようです。貢献度を上げるためには、積極的に意見を言わなければならないが、それはハードルが高いと思われるかもしれませんが、「ここが分かりません」「こういう場合はどうですか」という質問も評価されるのです。「困った時に助けを求められるか」という評価項目のある学校もあるほどです。ですからまず手を挙げて質問することから始めてみましょう。

また、日本人としてのアイデンティティーを生かしていくのも、クラスへの大きな貢献となります。例えば、

水の成分に関する研究で、調べる対象をイギリスで販売されているミネラル・ウォーターだけではなく、日本の水にも広げてみましょう。日本の水は軟水であるため、イギリスにたてのころは、イギリスの硬水に慣れずに肌が痒くなったり、髪の毛がバサバサしたりしたこと、同じ紅茶が日英では出方が違うなどの実体験を伝えると、クラス全体が国際的な視野でものを考えることに大いに役立ち、皆に認められることにもつながります。

意外に思われるかもしれませんが、誉め言葉は要注意です。こちらの学校の先生は、口や言葉では大げさなほど生徒を褒めて、やる気にさせようとするので、そればかりを信じていると、実態を誤解することになりかねません。一方、数値での成績評価では、絶対的評価基準に照らし合わせ、非常に訓練された冷静な判断が下されます。努力点としては最高評価であっても、最終的な学科評価はそれより2段階下などということもあるのです。

このように二つの違う評価方法が並立しているため、「あんなに褒めておいて、評価は厳しく、食い違っている」と憤慨するのは的外れなのです。また、褒められたからといって、過大評価しすぎ、学校から上位校受験を勧められても、日本での受験に重点を置きたい方は、力配分を考えないと、疲労困憊してしまいます。どこに軸足を置くかを考え、一喜一憂せずに対処しましょう。

最後に、日本で受験をする場合など過去数年分の成績表が必要になりますので、大切に保管してください。

### 日本クラブ診療所診療時間

月曜日～金曜日：09:00 - 19:00

土曜日：09:00 - 17:00

日曜日：09:30 - 12:30

※年末年始・イースター期間祝日は休診

※要予約 TEL: 020-7266-1121

### 2019年4月着任の先生

#### ロンドン日本人学校



校長	石山 秀樹	(いしやま ひでき)	埼玉県
教諭	武居 裕之	(たけい ひろゆき)	東京都
教諭	児玉 真里	(こだま まり)	宮崎県
教諭	鈴木 慎	(すずき しん)	神奈川県
教諭	香川 朋未	(かがわ ともみ)	滋賀県
教諭	伊深 智美	(いぶか ともみ)	宮城県

## 日本クラブ理事の交代

◆決算予算委員会（正）：柏樹康生氏から青木健男氏へ（ともに野村證券）

## 会員登録

日本クラブは日本人のためのクラブです。日本人であれば誰でも会員になれます。会員カテゴリーには法人会員正会員、個人会員があり、個人会員には駐在員、一般、永住者、学生があります。学生以外の人の入会単位は家族となります。詳しい申し込み方法や会費に関しては日本クラブ・ホームページをご参照ください。未会員の方には是非お勧めください。

[www.nipponclub.co.uk](http://www.nipponclub.co.uk)

## 日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07956-551363（外山健二）  
[kenjitoyama787@gmail.com](mailto:kenjitoyama787@gmail.com)  
随時入会受付中（申し込みはHPから）

## 日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例 会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ  
<http://ycbc.co.uk>
- ◆問い合わせ：yasy9395@aol.com（宮崎）  
見学者歓迎

## 日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：  
[londongreenchorus@gmail.com](mailto:londongreenchorus@gmail.com)

## 日本クラブ囲碁会

- ◆例 会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆会 場：Inn of Court Pub  
地下鉄 Chancery Lane Exit 3より直進2分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）  
[tanaka@gokichi.org.uk](mailto:tanaka@gokichi.org.uk)

## クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ ([www.nipponclub.co.uk](http://www.nipponclub.co.uk)) の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- \*建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。（会員証の提示を求められることもあります）
- \*閉館時間以外はシャッターが閉まっています。入場出来ません。

### ● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre

5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ

TEL : 020-7921-9490, Email : [jimukyoku@nipponclub.co.uk](mailto:jimukyoku@nipponclub.co.uk)

月曜～金曜：午前10時～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は原則休館

\*平日午後6時以降と土曜日は会議室の利用状況により閉館することがあります。

## ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動(5年生以上)
- 通学バス利用可



## ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

● 日本クラブ 在英日本企業300社がサポートしています / 英国で50年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

# NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科  
小児科  
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断・婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科・小児科を中心とした一般診療に加え、健康診断、乳幼児検診、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRIなどの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続が可能です。

旅行  
保険で  
キャッシュ  
レス

[www.nipponclub.co.uk/clinic](http://www.nipponclub.co.uk/clinic)

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)

60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線St John's Wood駅から徒歩3分)

020-7266-1121

(要予約、年末年始と祝日を除く毎日診療)